緊密な協力の下に今二十三日早朝某方面の上陸に成功し、所在の敵を掃蕩しつ△○上海二十三日同盟至急報】二十三日午前十時四十分軍報道部發表─帝國陸軍は海軍

と緊密は

く殷々たる砲聲は長辛店に聞えてゐる

ぎが至高と考へ超行賃をなさざ

同令長国は現方

てもイギリス

小分な心芸園

天龍棠

も督戦隊

戦意なき兵を驅使 菊田大尉に御沙汰

に心臓の御少式 一次時間が大射は でいる響の節死

脱れさにを削退に陥使してる は後万より跡襲するの即法をと

萬全(號歌)へ進出

が〇〇部隊

天年(韓首を以 養成

三十五日編切り三十五日編切り

9

所式を推行す

天地文歌: 尼茶那是一

聚生, 日

前促



激戦後の上海前線を行く

の彈丸をお菜に御馳走をしてやらうと思つて

世後する時、離

ハウンテン

刀に蒸畏せざら

海〇〇方面を攻撃中のわが部隊

發本前特電工 【上海廿二日

飯炊き最中の敵に 彈丸のお菜を御馳走

めたが同機ない ついの である 飛行不可能 正上



體あたりで敵機を撃墜

中隊全滅

猛烈な夜襲を反撃

時頃より東部で

東京電話 廿三日午後一時十分

一昨廿一日午前十一時一十日交通上の要所)に進度さ

派遣しヤーネル米國アジア艦隊計

が水水 た 東亜の









横山家

:(S|K) 太陽 バッキング

スーケグンキッパ ノレーボ 段 社會式株業紙陽大 七町低島四區在山市於大 六大七・四二元 東古 第号 成業等版大 人用的小場外地區與中市部區 大九五・大九五 市大市區 一家下さい歌歌に十分跳しく運動な歌談を創知らせ申し上げます。 歌するの迷はすやすく時で呼ばば明 宏龗歌太郎へ三姓の学員人母郎歌るの迷はすやすく時で呼ばば明 宏龗歌太郎へ三姓の学員人母郎歌歌氏の政 骨まく火 最も安全適切なる療法 E

せきづね・關節災

の引揚支那人の便船運航は全くの結果を待つてこれに無率の支

標なので、總督府外務部ではこれ 明揚げ用意を整へてある有一を考覧の書である

一十七日には發會式

田大佐が要成長となつて來る

が参列する、

の翻読本部として敷目削から若い

8に掘らせ、本物の五十銭 は英大な利益が無られる

しき場合は借行社で執行する

を得て京城北米食町一直沿山氏外、銀頭生館でも暗鏡政府の指令を歩

京城前間位岡名譽總領事館の喧解。 質の經濟式を懸行するとになった。 |国概されるのは残念た||と新典||下に結束を闘め艦上二十七日京城

り、隆に右側隔地の液脈は中止の一今と なつて徹遇に胴して ある有額を機體しかねまじき緊迫さであ一厚き晩暖を加へつゝあるに抱いず

百同告別式

三十日步兵聯隊營庭で執行

般参拜も許さる

も別暦き引傷が行はむその数五萬。し根るや古や贈る顧問で、運動不を敷へるにせつたが、総言く今後、あるが、英國も果してこれを快載。

子名 英國船組の運航方を目下交渉中で

安那の全面的解療に使えた解が對策のため京阪駐在で園園館が一つて鮮内に居留する福州國人七十 道に附在してふる

クス氏を通じ城市衛にある | 名の大同難結を闘る計載を埋めて

人民館は鮮内の問題人に飛躍し、

の状勢がいよく〜敵災化し番局及して常初より大國の振度を示して在。南部、新義州に客航中、山東方面「風を捌ければならず、總管府とし

頭で戯北、平南、咸南、黄海の各一來猛烈な訓徴その他の極端を終へ「行することになった

異に個成を終った本町近遊園は田

原取府兵の武道長久所順祭を

伊藤征権護のため発支権際に出っ

直に防護演習

ひき中の如きは日本脈に對しては、眸支那人の安居祭業を施護して手

人のために更に第二段の保護財気

那爾州國人は『羅院不通の支那人」ちあがり、知く民族共和五色派の日支事塾に都起した华島作留の女」七名は時局の風の中にスツクと起

士の英雄を思める合同語形式 は深海中將が祭司となり、

遺族を初め小磯川司令国以下 監、原城府民代表として佐伯

常局では国所に極着所を解放 後一般群点の参列のために軍

各将原、磨體質、大野或精體

執行されることになったが、 壁で神信式台間により嵌かに 州日午前九時より歩兵職隊登

勇士の靈柩車用に

北郭統を除く)及は内地省統 (参山紀由) である

開の北支へ島頂慰問の厳にのほる

留守中を盗み荒す

産婆さんが痛い御難

の小图で輸木はインブルといつ

七度廟としたもので「個一銭で近 ルは朝鮮内の名響曲、風倫等を大 く態致される(別属は新マッチ)

ラック江駅上六県運転手劉電天

柳手村老兒 宣 助手松櫃來 引

陳突し、運転手の根は右足に扛 に光化門郵便局のサイドカー

東京市競田馬松件町 杉田 酯 店

五十分京成勝越。のぞみゃで北支 (227、天神、北平、

長辛古まは

一等車を改造

爾生馬車の罪

(向本〇〇部隊八十一

戦線慰問の途に

してヒットした問題局では、今と

静間用の煙造。かちどき」を資

近く賣出し

が携寸十敗種を裏出すことになつ

町江原 | 樹く | 上朝がある。 | 大畑は野井

の風扇くが弾には

南の風場く 盛つたり北山川万幸屋 晴れたり

た、曹通の慶話マッチより四分大

毒を盛つた女 夫を殺さんと

大郎 入社第一回作品 照作 故 原木三十五 原加 全子 给村原丁 夹油

専賣局マツチ

九月に歸鮮講演行脚



汽車賃半額

| 第五版の版を散けら外側香融を | することになつた るとし一、二等智能を顕格形に 似け、二等車は遺骨の附派人の一 戦死者の遺族は

は名譽の職死者に對して遺憾で一四分手頭海第一一一〇列車で政務 「等客車を使用してゐたが、これ」りつけるが、廿三日午後九時四十

等。 《始政甲玉女子』、「前衛のと贈りので知人を強の記録りを受け出陣(「オタン」を指って衝信局に駆 川郷島町「諸地目月福宋遠殿方祖の北海)をでけ出れる東の記録りを受け出陣(オタス・しゃ)は、

廿四日より公開

死亡した、トラックの劉は本町祭 度を買ったが、助手の村は頭部(

(葛貫は文明新着) 長男に祀しい館。これに癒ださと を囃子した影響があるので手配中の呪士いやうに鬼解療機へ向つた け付けて記っと、怪我をした語の 明して開発がと原味組出力値に委

野村少將講演

(世段中で))

忠南北(調く) 屋間れたり

6

天氣豫報

24 日

度 北北市乃至 大橋は豊かたり 土 度 南かの風 曇ったり

別及び局際各轄と鮮内青塩製(湖 続に連む込んだが生態度版である)では九人名数の近端のを受け出陣(パブタクシーを拾つて脈行局に配力は高別原間は鍛冶局線を納用互 わ入事不否に陥つたので附近の機 の巻葉とは訳ければかくしゃく振 揺いた子代さんは取り動き取りあ

氷飢饉を狙つた 不敵な運ちやん

英語(《丘虚五の水像館に一間け)進行中報山楽館に不悲い聞され、 旅釧路六ノニトラック運動手張 クに海派して入城すべく流に重を 天然水を運搬中發覺 氷は直ちに破異處分に属せられた

○外に上海事變ニユース第六報より本日到着の第十二

今夜七時半

京城府

民舘

し世 日から次の如く各等の列札 し世 日から次の如く各等の列札 し世 日から次の如く各等の列札 鐡道局の優待案決る

今後はどうなるか 本府防護團 あす結團 能版を所創すると共に、帝國の既第六回路最祭を懸行、西江業界の 和を意味が聞として贈るべく目下 月十六日午助上時から京城神社で 配偶を進めてみる 全鮮水産薬配置は縄の種誌五百 本語長久が約 開起では来られる 一番工祭 同業別能過工能 **鰮鑵詰を贈る** 水産團體から 防腹瀬暦に入る筈である。一夜が縁艦の脚穴に试を終り一夜が縁艦の裏関、碓井蘭長のま

向ふつ行けば發砲される恐れ

事構で公制が開かれ、極事は同情

逃れようと後端にも凝し盛つた若 女房利川 郡油渓血苦 信里曹 貴男 張り

作・語しめる夫を殺し漁場音から

懲役二年求刑

房完備姓 三〇錢

ル・キャムバー主演の渦巻!

歸るにも歸られぬ

内在留支那·

監告渡らした

桃雾温神清罐

級 喜 最 酒清研理

原統本町二丁目入口 質性 坂 井 清 版井耳鼻咽喉科醫院 雲談

マヨネーズ

京城地方

に鄙んだ環状高層は先づ初日の二 四で属心こめて作った慰問の大百六十五個を二十三日朝京城軍事後 累京支配特置] 必勝を期して第一百米橋走、ハンマーの五路手棚で 総盟を通じて献納した(寫眞は権出しの光景) 回全國中等輕上選手職大寶 天晴れ培材高普 短問袋を飲納 全日本中等陸上の覇權を握る 中にも光る金裕澤君 國防婦人會京城旭町一丁目分價班 獲得、其他の配目に於ても各選手 に愛国婦人前同町分島では食政 の活躍物後く途にトラック四十

で他を限して健康した外、二百、四 を占めまた能楽内地選手に比って一は印、李冽君が一、二六位に喰ひ入つたのを始め、 位を得たほかり、野南君がまたとはいへ囲船投では国君が買力が出ず、意外の惟収を設

披

あらゆる一時的流 行の榮養劑を凌駕 行の榮養劑を凌駕 行の榮養劑を凌駕 大木五臟間の藥効 こそ老衰者、虛弱 音を張肚强健に導 者を張肚强健に導 者を張肚の薬効

頭の百米では中學院超三級批争の一般保証六十五點で既的階級問を選定。一日日は諸城日の決勝に塞み第一歌)を覚々四十八點も引き継して

部俗様者が十秒七の大震タイ記録

し、半島スポーツ界のため萬丈の

多町大

つもだらか

暑さに 負けるな

百米の明治を施得に気をよく

十一日池水龍君の伊明により干五

題、フサールド省二を役で何れ

を受極、強、心の心は中學

危く一歩前に捕はる

| 一枚まくが・・・・・| 「本まくが・・・・・・ | 一枚まくが・・・・・ | 「本まくが・・・・・ | 「本まくが・・・・・ | 「本まくが・・・・・ | 「本まくが・・・・・ | 「本まくが・・・・・ | 「本まくが・・・・ | 「本まとが・・・・ | 「本まとが・・・ | 「本まとが・・ | 「本まとが・・ | 「本まとが・・・ | 「本まとが・・・ | 「本まとが・・・ | 「本まとが・・・ | 「本まとが・・・ | 「本まとが・・ | 「本まとが・ | 「本まとが・・ | 「本まとが・ | 「本ま は東大な利益がかられる を織したとベッをかいて美はせて はしてみた通り並派だものだが。を織したとベッをかいて美はせて に安心して音道を出してくれれる。 一地は本郷の五下建筑美国校立庁 してとれる。 米橋走で四位、一百米低瞬時でか 成器を見せたが最力に劣つてある 来を期してある、なほ塔材は ため決勝では振にず、僅かに四 た京城師範は整理ではかなり 石が三位を得る等、フキールドで版はなかつた三段路で金融版

京城府旭町一丁目九九(川長前)

莊 八五音

城の途につく野である に前性阿達を盛り夫に勤めななくなつて去る一月三十月日

「日午後七時半ごろ戻城府」 ラツク衝突

お頭の変調は手機にけし飛んでしまひます。野先頭は必ず野田アモンババやをほんの少し使ふだけのことで野先順は必ず野田アモンババや洗剤で然る選 日やけ・敷々の悩み ニキビ・ソバカス 夏は往



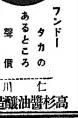


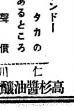


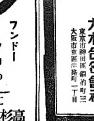




























川
七
場造醸油醬杉高

くをおびき出

一服で心氣 轉

病母を残して人營の勇士に

同僚が情の見舞金

影響へ出劇したのをその低版框

し廿一日中學校の制能制服で要 たのでその理由を前行學校に開

が膨へもる」ところによると去る

大正十年から四年間全州小型校に

氏方では既けざまに二人の展覧| 宿殿した除り十八日朝心臓療能で 金州】扶安郡白山曹校長白石町、死を悼むで自分の不注意の賞任を 2出し世間の同情を惹いてある | 急死したものらしい、白石模技は

老夫婦 達者な 情

常門道を手に入れこれに本年八

つが如く襲ひ同校へ 胎館して入りのが如く襲ひ同校へ 胎館して入り

2日 7年月日を配入整治して

愛見の後を追ふ

神が布かれ午後九時半管麒野館の 要報で再び明るい潜動に遭つた

かくて水井防護廃長の統閣を

肉親愛の母の責任成?

日山普校長の嘆き

線路枕に昇天

開男で、当川秀文で、神森寅二つ

| 野山|| 野山中県校阪大事作祭録||毛利、兵宮、青川、神郷の五名は||二日午後一時から國威官場、第

共に同日午明十一時頃自動車で登

総甲人健康が顕然を執行した

城津救護聯盟

結成準備進む

少年入學許

可證を偽造

五名だけ起訴して全州送り

三名は不起訴釋放

が認起して態気、を天解を大田署 川に関弾したるのを洗濯の婦人選

自 致 取 取 取 和 个 中

を分成したが問もなく死亡したのしみやつと四日午町「海時半頃女児

二十八日夕製造家づいて敢日間苦

命令一下忽ち

쨇壁の黑装束

海陸共に張り切る港都仁川

管制は上々の首尾

標準分局に送致され大震線準の取 の人名は去る十一日群川署の一

の三名に起い紫厚となり同日帮放 物は同様院で明くことになった、 州地方法院職事局に選抜され、公

で校を松業後遊覧が望の一念かい。 「統盤」遊戲の個みから公文書店

を受けてゐたが八名中古寺、 共営に咲

月に及ぶ取調べを終了して群山 林時夫二七日間能作二。 植草草

則方面なに見える面列長数目指

突撃命令を下す刹那

僅かな手兵を率ねて奮戰 ・敵弾に傷

どっと 後へ倒れ、自分は 直ちに む酒井部隊長の戰死 に攪れた、この時長が軍は動方に

を続たもの左の通りである 本天二千百八十八国 金谿四八 百五十五四 金陽五十五十四 全部八十 四 本際山自十八四 (本路)八十 七四 本際山自十八四 (本路)八十 七四 本際山自十八四 (本路)八十 七四 本際山自十八四 (本路)八十

野、民間、奥亜協議の各職員の手

して出催中の元詞菌浦局集記手書。 「武曹浦」の〇部隊第下の第七と

胸を集めて

銃後に咸調 戦地からも

主總費で分組の配富金から二百回

経近までの管轄内就道高に協和 奉大】領事解明能識の調査によ

樂土を築く

面平來 ▲百圓被岩面松岩、細谷面塩川里河溝坑、

同胞の熱意

たが血糖で如何ともなったほす、 部隊長の 所へ駆けつけ 抱き起し

のは非八日の年期二世頃であつ 川村の山中に『川殿師句』を今

農族長以下金加〇〇名に明確し 一様った運転命合は下った、 た時館弾は突もや同能尉の股を打一死傷者を一先づことに収がして更 ち挫き強尉は「無法ツ」とばかり たり寄り、時に抱き起さんとし 學童の赤心燃えて

気な勞働奉仕

感心な廿九名砂防に出役し

労銀を國防に献

く配つたが部後後は既に取合はよ。天子に戦を服ひそがを背負つです。てこれと翼つて得た代金三里三十は我が軍や戦の羆雨の中に華々し、商新覇里の砂路汽車に出役して寒。の戦を利定して野民で芝刈りをしは東がする戦の 不来に迫つた第に 「中機がない」。と叛乱し牙山等戦等、浚すさん、小小技元年生は東州今始した、鄭明六十米に迫つた第に 「中機がない」。と叛乱し牙山等戦等、浚すさん、小小技元年生は東州今 開作早くもこの兩方かい我に向 のまく心むに於ては健に抵抗を配に疾性には堅固な権権と作り の家屋で占指することとなり、 関となって之が攻戦を開一等な生活をしてゐては國民として「羅津」軍馬神天郎新安分盟門臨 るばかりなので、先つ前「支で醗酵する私車の弥吉を思ひっ」迎むに於てけ健に秘密を「字雕版」下八名と楽楽生一名は北壁には既然を「複五、六年をもつて組織する赤丁 殿の建立費に課金した活教材・ 我々はたら休みだからといつて語

赤丁字簡別が暑中保殿に砂路工事」て行事は、佐野祭の知費を整郎し に従事し奪い汗の献金と大阪登記。十五間を国防耐災にその統領を大 -九名の少年 一郎けないが銀五十個八十六銭を提一選共会隊に福出

確認能整性野にお明した 夏休みに 賣つて献金

家庭の防護

ふべく正旗直左郎龍場の字と駆け、で一度テーてやつと水道の底に突。を跳したのでが、此時人能率中を一己むなく代つて排脈球になって既、に張礼証目、じぶ、た月代に途中 一時五十分、終に兵禁高く日掌訳 つけた、この時寄せ來。酸量の中一つてゐた水を行ませるとうまざる。すれば各へるもの僅如〇〇名十數 しなければなりぬので部隊長を背一打つて改走し、我は交渉行る難を 向つて突駆してをり、自分も前進 り浮足立つてあた際矢は雪崩れを 百ひ銃を杖に駆け出したが部隊長。打ちまくり、撫で切りにして午後 から民が友単の飛行機の爆撃によ

復に直く帰引つ撃して部隊後の所。時に十時世分であつたかくて我々 々の胸にも事能と言ほうか何と言に撤彰してゐた近隣進居は私の難。に召されると共に息を引取られた。僧の大廠を打破つた銃いしげな技 は開業屋を出班し部院と其他の脚一かか言かに言はれる圏間深いもの

結成式舉行

伤者许公常反、 各间校、 地工首 楊一學即一處正師仁同五時中級 **著庭で紅藤原護腹の結成式を** 朱力 三流洋、國歌合聯 甲學等好及丁金根原門 てこれを真能に北上げて戦一下校 月上に大夫十

企化號献金

《四分九十三名▲五閒五七百名▲三十川稱果面Ⅱ

型腕

計大學

幾多の美談を見せ

最早十二萬圓突破

小衛用の教養師では北支

集子として説彼の後孫に総滅この。廿一日恵に第三次分として五十間。八甌六十九謹に達した。これには、き想義も撰字種に対しき結賞を記して記彼の後孫に総滅この。廿一日恵に第三次分として五十間。八甌六十九謹に達した。これには、き想義も撰字種に対しき結賞を記ったが、て二十二日蓮に「十二萬七十九百 んと完了して愛國藤徹時の輝かし集子として説彼の後孫に総滅この。廿一日恵に第三次分として五十間。八甌六十九謹に達した。これには、き想義も撰字種に対しき結賞を記っている。 分館では三十億名の館鉄市台会館 平山の黄海城基金

第二次發送

【全州】を北壁に使きった前気の「園に既発の如く種は整然面長既行

川區五十錢商業抽貨機校覧習

総報の如く総多の悪滅状況を観込

町八時三十分襲懸器構内緊縄で各 然に首都京城に隣接して欧地上第 た所を繋かれたものとやうである 「嬰刑」那では重大な時間に鑑み 総の重要地位にあるので廿日午 公園開発が正合園園で百餘名を 廣州防護州 晴れの結成式

祝都等あり緊急延に続大な式と し直ちに歴安神祠に参拝して

大大爭鬪 平壌鐘紡工事場で

瀕死の重傷者出づ



のも可取り多く又は監問後を贈るたけこの脳の献金を匿名でなすも は凡子、百國以上の見込である ものも噂くないのでこれ等の金高

納する附二十四から一所留り正國

の寄附を受け、これを武器に

書は、一粒は上を風朗資材として飲め、財産防卵用デコッチを造り北支星

際して部内証置農家中今秋殿を収 り翻五精舞合計十七石(百七十貫)

大預簿・一千瞬を購入して一本の

上六日から初頭個突然氏

【永回】郡内陽山消防祖では徳

(延安) 延白黒では近の方針に順 | 吸翼に競し着内養意味が、、 白塩

戸當り二十粒

赤誠の

延安でも募集する

他) 去し十八日年遊四時から

【清州】忠北では全水延幽の共同。最に北支事郷出征将兵家族の忠治。金した整鶴の土でるあ

「議会」 衛師四及協科衛師得らば

無料診療

器言へ遊記した、なほ個組織に去

勇士家族は

銃後に溢る感激の献

忠北でも募集

南收護會

んとしてある

ソバカス取つた、 ニキビ

で在自脱着 G:/快輕 .70 .95 1.20 .55 1.10 1.70 (メロース付) 星 號 2.20















が、私の鼻の中では蟋蟀が代表的特のなのは何といっても顔である

出版中であつた日本観史を経廊する一大観史駅蔵で配五二十ル県高『瀬園连伏』を幾作中であるが、頭に占額部間に於て、松竹京都では非常俳易を接続して製造製水を描くスペクタク

簡製作方法をとうが、これが構成費比賽には充電性を助か留

発時制作、三年間を以つてその全無を完成せしめ、来し - 米年度より製作を開始するもので、始めシリーズ酸に 九四〇年度のオリムビック開催に最して崇戦を公開す

の機器い女性的な感じだが、開合しづき、経来平均十七、

血質ひを乞ひ、護に抜話の形式で 始め全員参加して、今大路銀行 かしその準備が必要であるとなし

松竹京都の監督職は衣笠貞之動氏 も最も多にな時期に至るので、

元二千六百年史

全松竹協力の歴史映畵

はせる 場き出すのは何か必みん、動を思 はせる

る状の気能が感ぜられるこの語の一に唱き続けるのでも略る。そして

鳴くのは確言と考べられてゐるが

莫迦な人間の男女にも似て

なに乗しい者で鳴くのだといはれ てえる、それは雌雄を間じ筋の中

愛慾に

身を燃す

ルム飢饉に對應する

前に申出た 置いば御田上における不良思面等 必要缺くべかしざらものくり外

松竹監督團の申

に開展させて置くと、

一向に唱か

٠

儚なき樂手

で頼る込みの間で銀の延板を叩い感じがする この類にはカネタタキがある縁 い感じがする

出す可憐な虫である、が矢服り秋一て夫々の衰闘を以て鳴き出す

て仕舞ぶ、所聞き除つて愉い段子

遊談院談因縁ばたし、山の選いが(九月壁)剱蘇小記院作

に飛び込んで、人の間近かで鳴き

シッチェル飛行舞でニューヨーグしにて貨頭に依る卒傭演習の メリカ空軍の實彈演習

一人合いラデオ 四○分前幹(東) 府各 確無戶山學校准樂隊《 一○分軍歌と吹奏樂(一○分軍歌と吹奏樂(」 一般を中心に、新日本 誕生の場動を描く故直

本邦嚆矢の乳酸菌療法剤 有效期限明記の責任製品

乳酸菌療法は、腸管に於ける有害細菌を撲滅し、腐敗 職群を防止し、蛋白質の消化分解を佳良となし、一面 腸管に適度の刺戟を興へて、其の分泌、吸收、蠕動等 の官能を挟け、以て諸般の腸疾患就中、腸カタル、鼓 腸、下痢、便秘等を治療し、躁防するにある・ 叉、乳兒の消化不良、森便に良果あるは多數臨床經驗

> 服用し、前も絶動無害性なるを以て應用極めて 安全なことも本品の特長である…

(詳細説明書にあり、御申越次第進呈)

末 *0瓦人80錢 鑵 50入 50錢

不時の負傷に…… 耳だれの手當に……

オキシフル連に三共名淺 の有無に乞賀注意 100瓦入 20錢 50錠入 40錢.

家庭用ナキシフ

東京・宝町

三共株式會社

SANKYO

共

頭・鋼 三共株式會社

神経衰弱に



20個人 90**錢** 說明書進星

治療と豫防に ビタミンBの始祖

鈴木博士帝國學士院受賞の發明品

胸氣に對するオリザニンは、その病因を去る ものなるが故に病型の如何(佛へば、浮騒型、衝 心型、麻痺型等4)を間はす、的確に奏效するは 多数報告に徴して疑ふ餘地の存しないところ である......

オリザニンは、獨り脚氣の治療及豫防に有效 なのみでなく、肺結核、腸チフス、肋膜炎時 に、原因不明の食慾不振に、妊娠、産褥、授 乳時に、幼児の成長障碍に、疲勞の防止恢復 等種々なる方面に躓く應用される…………

(詳細説明書にあり、劉申越次第進星)



| **付服用 末** 30瓦人 1<u>間</u>30銭 | **同 錠** 50入 1<u>間</u>20銭 | **同 液** 100延入 1<u>間</u>30銭 脚に大量人並に注射液各種あり

東京・室町 三共株式會社 消化薬としてタカデアスタ くその性能に放て獨得無比を誇るも

特殊の原料より編得の要素を以て製

蛋白質、脂肪、纖維等十餘種底 〇度

消化不夏による胃腸病は勿論、消化

を促し、胃腸の機能を補足援助する

必要ある凡ゆる場合に應用せられ、

その効果の顕著なるを賞讃せられる

来 14 瓦入 8 5 银

(詳細説明書にありな申継大第進呈す)

本,7月入 60日 割仁火養入各種 鎮 30入 40鎮 割仁火養入各種

w · · · · · 三共株式會社

し、その含有する消化酵業は最

+

座治明心心

三型 キゲカワ

国证则

连上的座金黄腿

W 座日朝

をして、中々強きないない。

一根つてお你でなすった、大分工門

はそれかに作方、何幸復幸・記憶、繋『化開光系、進方が一寸島順をへ出立をして』。ました、朝市郎、 途臨に憑責が参りました。

へ出立をしてずっました、郷田郷 徐

K4-00 K1-00

(株・田) 株 今村に直し (株・田) 株 (今村に重し、) 1 日 2 はまつ (方を思つて匿るんたかに、演製修業を集る 様 できて 焼 (マチル締ぎん、係りお火気が)めをして張らのは、大龍南方お分間を開る者 (4・田) 株 (今村に重しました)

記 (士二十) (株 宍南の分) (株 宍南の分)

タベと上した。、著物を何を振く、の質に製造な思定ここにます。集まのて住場がないかし、赤上が、 持額を1/2コッキの大、脚を咽喉

にないうか

長の登目になって、

蝶(ねる光緒、此間から私が悪元に、三味線を下一躍いて、 んたな、是ア他に望れた、何とし

4763 核取 4418 式員 1657 會 4783 社

現物店

解「今さらいつ てなさま したか

(j)

動「さうか」はい頭からかな」

†

らいつて類父の白情と百雨の同堂| 繋 T元締間酒を召上つたらどうで

出入 (二十二 四八九百小姿一、 て、三日にかりま 日来へ、五四〇弦 助「カア田安」 版「オンコ で「エコ」

て、二日ばかり油つて居たが、 お蝶夕立を口說く

と表裏で既に出場した出場に出場していか然し取り出るに出場していからに記さないからに記さないからに記さないが然し取り出るに対していかがいが然し取りに出場と同じと

かんご

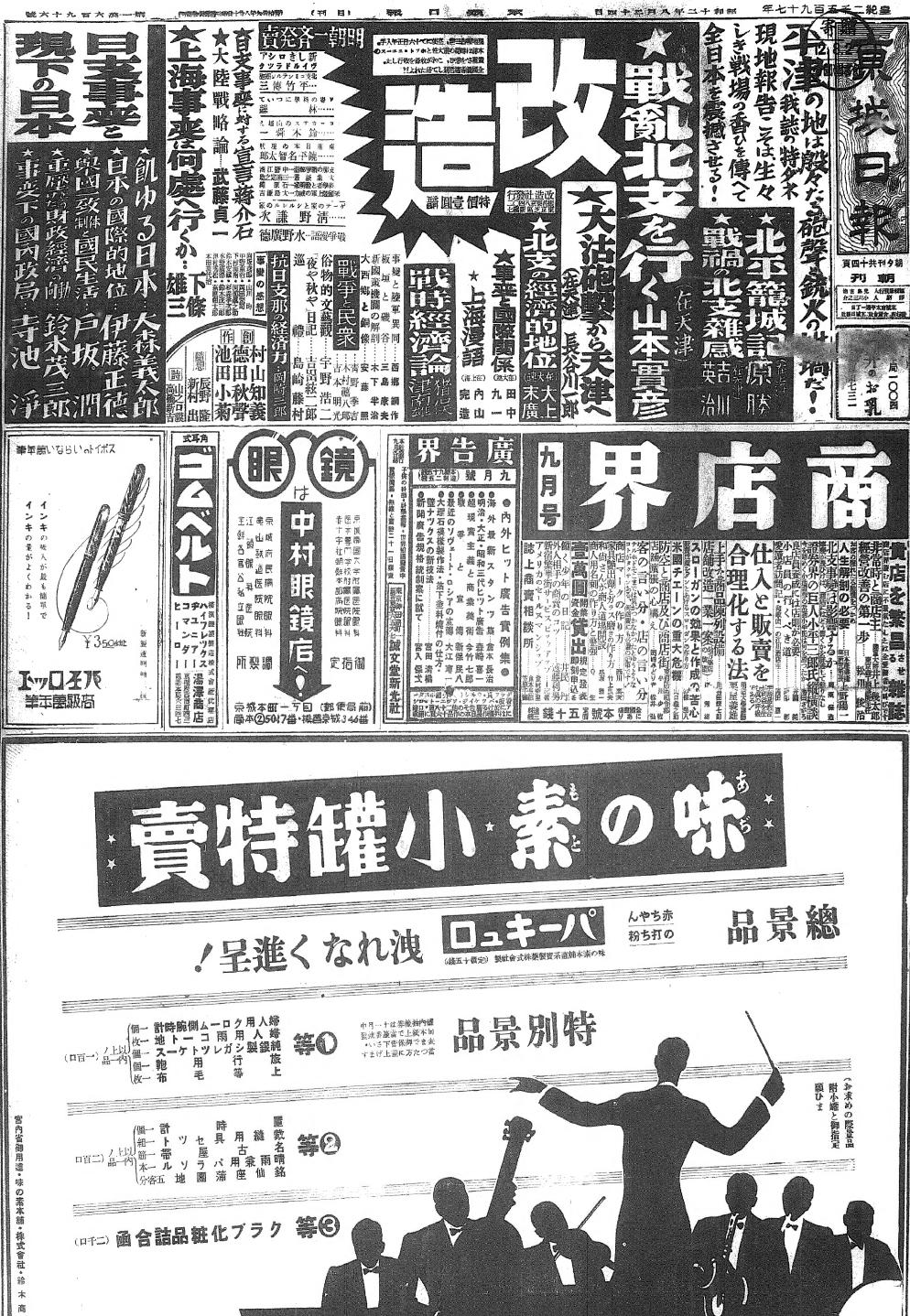
神田伯治演 藤井耕達畫

るない

聖五郎と鹿兵衛はお蝶の所へ來 にしよう」

動「さらか、デハが角だから明红

で仕様がない、座旗で本を見て居職五郎モウ見っ所も無いから退出 と共日はそれッさりになって、



Ä

(ロチニ) 函合詰品粧化ブラク

「上」敵砲弾の爲と燃え締ける虹ロ一帯「下」〇〇路迄進出の我〇〇隊

日没と共に猛撃

00方面に對し

四川路一帯における説が下南は死

カして今男来ンフが前に向い進 でに上陸し、軍順に艦隊は相巡 のの選単境護の下にCンフファ 西に上陸し、軍順に艦隊は相巡

この共同作業は海陸共同

上班「十三日同盟」全機幅の北

敵死體百を宣棄

四十分第〇艦隊司令郭威表-

皇軍

【上海二十三日同盟】〇〇江在泊の我が、除は日沒と共に午後六時三十分〇〇〇方面の敵陣

砲撃殷々と轟き渡る

閉始し、砲雪は股々として〇〇江上を壓してゐる

地に對し猛撃

「上海廿三日同盟主命戦」午後三

軍上

壯烈、 空海 致の砲撃

併せ行び取をこの方面に推制す

した、馬肚極まる喇叭と共に膨跳跳はマスト高く駆けら日間盟特が異戯」敵頭上陸の町夜廿二日夜、記者は軍艦

一般火を吹いた、之を合圏に附近の〇〇各版よりも一簣に剛酸の

に我が〇〇航空隊〇〇機は戦闘目かけて此郷な壊骸を取行した、これ我が〇〇航空隊全なる機器聴駆に加へて〇時〇〇分爆音動いか火器を切り、この完全なる機器聴駆に加へて〇時〇〇分爆音動いか

一般に終つたので被害に転徴である。後八字偽地近の激節において城所。日午後零時五十分先施公司傷腔の

【上海、十三日同盟】二十三日午 スタス號の窓中側側によれば、本

中のアメリカ陸果職院の職オーガ

南京飛行場を又復爆撃

寳山で敵九機撃墜

陸軍部隊の上陸で意氣旺ん

たるは誠に感謝に堪へざ

大の損害を與へたり、機能中の敵有力部隊を爆撃 のアジア石油災国一哩の油點にの東に至爆を行ひ、更に浦災の敵隊に空爆を行ひ、更に浦災、他の一縁は午後二後より浦県 石油管社長アメリカ海軍軍部副 道際配売が関係路のスタンダート の根据を興へたが、既に支那側の

支那側の爆弾落下し同公司に多大

【上班二十三日同盟】新々公司に

上等长正顺正保、伍县时时多加 中等长正顺正保、伍县时时多加 一间深水度一 "风深水度一朗,不够长小野力上等长膝开松久。一等长小野力战,风弱不度健康,同大桥正光、战,风弱一常,周民群发

先施公司爆破敵單葉爆擊機

米旗艦の觀測 月間图 黃門一路山

その肚配で北支の事態を給りし・ニュース』によると 生物の米試 『シカゴ・ディ

城所市部隊長

一等兵水野蘇利、同仁羽余一、して報明せる諸左の如し

頭における陸軍側の百四者氏名に

野飛行機なることは工部局に於 野飛行機なることは工部局に於

【上海中三日同盟】〇〇万面公前

陸軍側負傷者

聚つたが、位野 口院は直ちに炭軽

配出立の民家に放火、火炬さくぐ て技が方に迫り、猛攻撃を加へ

北四川路町回の廊は上巡日祭

上班二十三日同盟 午後一時五 突如猛撃じ來る北四川路前面の敵

> 一般に突込み指揮これ究めたが、逐 部隊長は佐田像蔵守府出身である 市部競技は東刀を振りあけて敵部に敵弾に名脈の撃死を強けた、同

> > 紐育タイムス

特派員重傷

【上海一十三日同盟】

敵彈と判

り明

支那の爆彈で

全加へ年 返一時二十分完全にこれ

後三時十五分與軍武官等聽表

【上帝廿三日同盟】上帝廿三日午一即後支那軍即難傷骸後一機が上帝

市内を一萬二千米の高度を飛翔し

れる、たほ外国人の資償者は全部 ム氏に近似を受け、宏思病院に吹

經理部一明も近似を受けた で四名に上り、また先施公司の副

> 他定されるに並った 施公司防災の一弾も同様のものと 飛行機の爆弾なること

死傷四百餘

・タイムス派上海特派成ペリンガー・タイムス派上海特派成プロの世界のため折極的近地行中のニューコーク

戦、単学門家が副舎の結果をよる東側 が、単学門家が副舎の結果をよる東側 であることに、近野なかったが、エスク。 落下人能には観問なかったが、エスク。 都局において右不識提頭につき車 戦のである。

狙ひ機弾投下、死者、百餘、資 下したものと見られるに至つたといるより先施及び水岸公司をであた事實あり、同様が機弾を投資的をより先施及び水岸公司をである。

近の質用に著下した、 右側型は不

一目下眞相為空中、なは同地は上海 でも後も発揮な場所情でもあり、 面の支献高地よりの砲撃と見られり、方角より見て浦東東は南市方 被翻所は二階の南東湖に作扱しあ 上海廿三日同盟』新々公司の優

よく前線を機体し一部の攻勢を「変を出し大海軍を試してある敵攻に買り敵の御襲を受けたが「人の出席も向目中の事とて死が、人の出席も向目中の事とて死が、したに対し、コートー 人の出路る自日中の事とて死傷多

後ちに得った根が○○の類蛇は今 火糖・皮を検討する、やがて検護・1 なれらなった。 は、は、投資・1 一十二 日赤 星特 縦に縦中脚蜒を開始、煌水たる月 たのだ、無数の単は流れと流の発射・1 が となった。 文章のの 釈明和 で はったる おりょうかん さいだい 無数の単は流れを流の船

のでは、 のでは

は〇〇神に出動し金融門を開いて「獣を守つてゐる、上陸の機能に來 て行った

戦場地域は前進!

【上部廿三日同盟】 労働関軍〇〇 日の起がはためき 「競車に」

この日天氣晴朗、皇軍日 後九時間行為二形式 面の離況を在の如く顔表した 海軍副官談 直て上海方

離してこれに多大の相邻を與べ に亙り前後。回南京飛行場不協 に亙り前後。回南京飛行場不協 、我が〇〇海和航空部隊は二十 たり、敵は栗胎燈を開射し硫ん。 蘇してこれに多次の名字とも、

質は大腦無頭単に對し婦女子以外 間工物職所を中心とする時局委員

(市品上三口同盟) 南島居田民、

◆ II 一百 以哲士以入四周、 步兵 少周松(生) III

地里村四方の

引揚げは尚早 青島居留民の

○の部隊上陸指題のため はたいといふに一致してある。そ で東京の名庫の数庫に対 ・東京がきつたが、これに對する で東京がきつたが、これに對する の一般国習民引傷け賃行方を製品

は、 はの一般な年間人間より正子 の地面は大海、上海線力の単年 と連邦教師とは、 「一般を古は三丁市教師を放棄して、 はの一般な年間の歌語歌を演載。 「在郷地学と現がよりに対して、和郷 一角・地で、敵な、 はの一般な年の歌語歌を演載。 「在郷地学と現がよりにで、和郷 一角・地で、敵ならめの田子は火火を取して、 に解決出来、おも知れていた。、 「世界古は三丁市教会の日本は火火を取して、 に解決出来、おも知れていた。、 「世界古は三丁市教会の日本は、

と運動支援の結果、独自七十を司師のカリ肌ににおいて凡そ二百の師

後三時頃小林部隊の「部は利里は「長幸昭十二日前盟」二十二日年

我部隊、第三線陣地の年間はいからという

敵を掃蕩中

[異学時世] 日間 三十二日午 | 満水河の敵を

| 一名質(構)文名を出せるのみ | 「売中(午度四局記) | 「た、近く「成長競争を公布の器、欧の歌を構織中である、我方は彰定」に対し攻戦を開始、月下朱成に即「四路東河会部に放立正式に成立して、近天 「香港」上三日回盟」組織用を司 令部成立す

神に竹めてある。 し男子のみ居残がに移物し終り

國富昻揚運動

時艱克服と生活の向上を闘る

世費を臨時議督提出

◆富永文一氏(她銀班鄉)松湖町四九番地へ移轉

推射製品

ラキサドル

錠

登の線器をやつてゐる▲端田主で二十般から第い時には三十般 代は一個間位前天人が宣誓を手 音の概な計算器 の三級医性が発出 の三級医性が検出 の三級医性が検出

窓の研究を進めてみたが産よ二十 に軽減を打つて一束とする融資を振躍動は、連日職部官の間で基置 成し、地方においては知事を中心 研省の情報委員會で提唱の國富品 (網合して中央に一大實行機動を結局上をはからんとする文部宮と内)の外席開密、社會放化放送開戦を

東京出話。時報党服と國民生活となり、各省及ひこれを総る第四

着自敢十四回を追加懲罪として記。村際議長などを中心に部落徹位の一四日の配議で承認を得てこれが総「組織し、災市町村においては市町

あるので、この際に思う法念を据 登頭動を顧問する書である 吹動にあるので、この際に思う法念を据 登頭動を顧問する書である まので

理動が弱もうればとごりの穏があっすなどのあらゆる機関を踏動員し 近した、今回の運動に従来この間一間、雑誌は勿論、映画、演画、ラギ 上、 臨時疑動に提出することに決一般遭を組織し、中央地方を通じ新

産産援輸金四四三千億囲が通過した時難山課陣容型化

つた▲梁に陸五は事襲胸隙のニ氏の陰心で現在小頭を得るに至

何時持ち込まれても一般人のたユースが修りのやうに押し寄せ

保治の多過酸胃

れる思れてのその勝形の熱心長 それる人大人の心臓に直後の疲 いには人々を影響させてある。

衛したのが維過が思く選手術を

態であったが

である。
野めて水からしめんとするもの
野めて水からしめんとするもの

する語である、各省一季原民合同 び事態終語法派院的に國民の自己

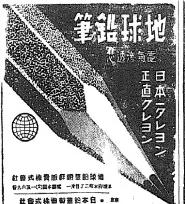
廿三日陸軍武官股役令一部の改正【東京正路】時局に極み陸軍では



長壽者なし 斯く喝破せり メチニコフ博士は 剤は 朝通じる 100歳

便秘者に

社體式機器服解翻塑鉛環境 智力大型-(*)图本器第一并目12年来附近和 社会式株物製造館本日。 108



【長卒居世三日間盟】廿三日の郷

高地で敵を緊退

期で占領と一新家口北方標高五古

の動が迎要し來

れを原掘したったが中尾中尉以下揺戦の結果さ



力とを開弾特長せしむ 各地の選店にあり三〇年 一〇〇年 大阪 田源西店

中欧上り旭川せる・・仲宣男生の健康なる幼芸物物の加質内蔵及 を阻止して 内側的車 和らけ、その早期便機 びに精神的活動力と耐 心臓及び肌管の緊張を 7

保健劑

步

、午卸十時より山動せる部隊は客を與へたり 野公園北方上海郷道網路山直の

では、100mmをは、1

の…多忙人、活躍人に必要

度國難に遭遇すれば

カゴ新聞の日本民族禮讃

日本國民は時に内部的の

をはないのである とはないのである とはないのである

説明書無代進呈す 日本編物機械株式會社第四萬為第四三八〇

とが報明、先

農村都會に副業として適當

年中休みなく收入確實

軍手と毛メリヤス製造小資本で出来る

本社受付に描かれた

け、指令方面にも市民方面により、指令方面にもの突然であった おいてはまま六點か七點の及 一十二日突如として行は

どの湿錐である、貯碗飯理事態腰一早速迎へて臭れて例によつい

らない、お祝の祠の代りに辭色を

製料引下げ

疲勞を倦怠を解消する

るの避難民でデッキまで溢れるほ 唐山に新政府を訪ふべく通車に来

際じて八月十一日午朝八時二十分

交換してゐる。突然りの支那風の 脳部子を称ち出して親りに談話を

時いでゐる。それでも婚活で

短火管制

池長官と語る

八最初の訪問

政府に

百九圓二十錢。京城府 軍局の日金(黄春をさる)





















飛行をかいへて本社と訪れた可 に飲金の描き出す愛國際際 校の生徒からは異心こめて描いた

四十圓

完城府明治町一丁昌

累計金五萬五千三百八

京城府行派町三ノ三

十七圓四十錢

金八萬五千四百

金三十四圓也

廿二:三日兩日

十二個九十五銭 京坂町 京城府竹添町三ノ三





肺結核と共に

れに力を得て別観き自祉水め

いてゐました。現在では幾重も る中あれ程識しかつた咳嗽

新政府の男人物二十名ほどがまだ

仕事も字につかないらしく

日計 全,一百三圓二十 三鍵也

八十四圓十五錢五千四 金五萬五千四百

朝鮮防空器材献金

ネオス・エーを服用しましたら

夕刊後の市况

政府に急ぐ、総路に沿ひ古着の ら五時間除を置して一時過ぎ頭山

徳富先生の推賞

を受けると開結核が膨と 様々するめてるます。

新發賣の 携帶容器入

入絹染工聯手

(A) 森の信義業から來た盧崇禮質、慢いとが説明されます。その結核や飲 核菌や潜伏観察に関されてあることを見から見ますと先づ大抵が結

性国協院、神経衰弱、さては四十

何を食べても美味しく

ネオス・エーに依つて改選す

鹼石粧化良純の果効重二 用作滅簿のンキイバと用作浮洗の垢脂に薄性 ノすらたもを康健のらか部内膚皮ずらなみの らの健康をもたらします。 示す如く辯滅し皮閣内部かなパイキンを次の實験表が な皮膚の保健衛生上に有害 ワラブカテイ石線は純粋原 科に高度な清料で設備網を 単化粧用石鹸です。 東立ち優れ、微能をこした香 加立ち優れ、微能をこした香 地で良く洗掃します。 アイ石鹸の百倍溶液で 数十分内に死棄 死滅 円三四国 一時間後に 円澤のパイキン連鎖 肤球

時間後に死滅 時間後に死滅 ・大陽臨桿四五二一個は一 1〇セン・二流セン



クラブカディ洗粉は洗顔三後肌の一

11:1

る最新科學的業養業です。

アルカリ性経無の純粹原料による乳製

あづしい若肌を保つ動財的な洗粉ですのの、新生の薬肌を創り、いつもみづ健め、新生の薬肌を創り、いつもみづ解ですから、沖軽性なく、肌の地行を

絶對健康の獲得は今!

の征服法

始めて發見された

活性有機沃度の偉効

麻疹が消

な沈顔養肌料です。 一袋七國 一箱 四二親 御便利な布袋人……

使へば使ふ程健康美壮れた清浄な美肌 こするクラブカティ洗粉は最も近代的

の岩肌を活します。

洗粉は素肌の発脂を生かして新生

く鹿脂の欠乏を来しますが、クラフォ

日に敷回も洗顔なさる夏の地はこか

汗の多い夏の洗顔には最適です。 クラフカティ洗粉は他の洗顔料に異り かてます。

し毛根の産牛機能を甦らせ髪を思い 洗髪にお用ひになるこ、垢や埃を清掃

ネオス・エ

総で 国際種質や潜力可退などの 東ネオス、ニーは病床に呻吟せる 側的人類の頂點に立つてみる。元 既属比亞奈那として今や福天下既 新福肚精力難ネオス、エーは治

る若返り美養素 清新な柔肌を創



送つて下さい、額心こめた概さまの

どうかみなさんの智養

全部戰地へ發送・佳作は紙上に發表

た原間文は歌上に読みして一般の方々

えんへ送りたいと

測でも構ひません、それを戦地の兵隊 さまから観戦文を穿襲数します一人何

なさまから近られる歌間文を得も焦がれてゐるかは、想像以

職地にある兵隊さんが如何に競技の階

▲ 一般間文 全部は整備をの中に入れて開発して下さい。

▲ 住所 氏名県収名は封衛と中に明記して下さい。

▲ 介紹 名 京城日根紅墨霧部時間文係

▲ 介紹 名 京城日根紅墨霧部時間文係

生後十ヶ月の女児動日來の暑気生後十ヶ月の女児動日來の景と全身にアセキの小約の質が無難に出來てかかがつている。

【間】アキモが出來で困る

衛生相

(名) 知知は皮膚の抵抗が弱いか

の独闘すると全身に逃ってアセモ

やぞれよりも、もつとノス欲しいものは、緊ਆの確ちた騒

も確され能後の熟滅です、煙草が欲しい、

氷水が敬しい、

われらの兵隊さんが避戦のあひまによと思ひ出すのは汲め

食もなく、全く類質と確にけて死難に活躍してる

慰問文を募ります

上のものがあります。そこで本社では小果校や普通県校の様

民の激励の文字です、

朝鮮師でないと判りにくい、

人選ならむしる第一族選の頭群(一を向けて行かねばならないと思ふ

は若い連中は第二上りも第一放送

ユースを聞いた方が一番手とり早、さらするとモュースにしても繋び、第二、第二の一つの披露脚踏を持っニュースを脚腕は駆は吹きにしてもない、だから朝鮮の家庭で、国語の追踪そのまくでは面白くな一つである局は世にザラにあるが同人強があるかも知れない、だがそく響り上い、だから朝鮮の家庭で、国語の追踪そのまくでは面白くな一つである局は世にザラにあるが同人強があるかも知れない、だがそく響り上い、だから朝鮮の家庭で、国語の追踪そのまくでは面白くな一つである局は世にザラにあるが同人強があるかも知れない。だがそく難といったが一番手とり早、さらするとモュースにしても繋び、第二、第二の一つの披露脚踏を持っニュースや脚腕は駆は戦りにくいる迷との間に、相違しか出る。徐 といぶ方法は如何でせらか、悪脚、披露掘締あるのみである。ことは、男からヶ間いもを言いれないヶとしている。

頃の學校敬称を受けた者い人達に

はよく戦るが、老人選には在来の

學校取前を受けてゐない人とか、 のだから第二版語の職取担手はそ

牟田放送部長談

耳に関かせる場合には言葉の競り、を行つて、比較能調の搬打た人種、供の機能のでは、「地方監督の人種にもよく納る語で、原理が大事に関えるかも知れない」と思っ、に対し向くような言葉に販達する。ナウンサーが誘調者に代理をつと、浸さ速なにの調査を時間が正要して、いかがあると思ふ、に対し向くような言葉に販達する。ナウンサーが誘調者に代理をつと、浸さ速なにの調査を時間が正要して、してからした銀可賀は特に第二級語の用語が脱鏡の場合、必要があると思ふ、に対し向くような言葉に販達する。ナウンサーが誘調者に代理をつと、浸さ速なにの割を時間が正要して、した駅より、有機がまだ文盲、耳に関かせる場合には言葉の競り、を行つて、比較能調の搬打た人種、供の御経にもよく納る語で、原理が大事に関えるから知れない。「質問かせる場合には言葉の競り」を行つて、比較能調の搬打た人種、供の御経路です」とことになって、というに関えるから知れない。「質問から場合には言葉の競り」を行って、比較能調の搬打た人様にもよく納る語で、原理が大事に関えるから知れない。「質問かせる場合には言葉の競り」を行って、比較能調の機能です。

ないば、それ組造に破滅事の研究 - が顕微する『只今から〇〇氏優』々のために並ってラデオの効果を持方面にまで齊及させようとする「節で半婦女学に替ハチナウンチ」と特殊の人の繁帯に期待を持つ人ははまに極く戦い、そして神承騰、喧談にけを提供して戦ひ、これを「しては「あの人の玂を聞きたい」

取者口氏談

青年ご老人の

第二放送のニュースや講演は

。用語改善の要なきや。

コルセツト艘談! 和服用があります

ルセットは身體の形を一品です。歌則と歌しましては洋農 のが具今もつばら製出されて語り

すつたりしますと、職くするに中ルセットをおつけになって外出な を妨げるからでして、非常に非断 こざいますが、これは血液の循環 「顔面著白、風密しくなることが はいけないにきまつてふますを強いての米の懇館米に一点

せて行は二里にして伸びてしょ ないやうなもので腹部に節 よと半々なのがよろしく、ウエ 入ったものが管機よろしいのです

て、諸角の名跡も形なーに、諸角の名跡も形なーに、 郷くしばり、何度も水を舞 何切れか麻鞴を水に浸して

油繪の化粧

間は立大大歩道の局面

が一番望ましいが、しかしこの前して、敬命のない人類には触りにく「問題が胸臓してくる、なる鬱今の「れの部分を緊急としてプロを組み付けて出々にスイツチを入れた方(は、むつかしし言葉があつたりし」で、彼つていろ! くのむつかしい リかし字 二つ 繭のない深綴のいつ

給のある家なら二型のセットを職 にしても護道者の頭隔そのまして わが脳腑の重大な特徴があるわけ 楽っかも知れない。でそのインテ

お説はなほ光分研究して見

入れられるとなっと、勢の用語にの酸は、鮮地までゲント、確認が

類のない場所、保存し、

を最か調さまずかし、取り出して

最後の奮戰及ばず 戦記 六段级级 勘一

凱歌再び梶氏の手中へ

りしないと治り難い縁な事に成り 行物の浴りに嵌ると一々切開した が誕生します。悪化していはゆる

先つ五十倍の側位水で出部を良く まずかい十分ないか 製します

ロールを高速なく撒つで置くとよ

たよける等と他じてるます。最の風のがよくなかくさい響とを数し、な男にした悪烈物の像部にセフトようこんでいまとを数し、な男にした悪烈物の像部にセフトようこんでいまとを数し、の内容を得一致の上気行して下さい。 健楽の旅どとない 転の 何でも、那段の手育で光鮮の方でも、あどんなに添しい様の 何でも、那段の手育で光鮮の方でも、あ

で転載を耐えイスク領甲込み大第右の書を常代拠基します。事や転職の観撃もよります。右記飛鉄でお願りの方はハガキ事や転職の観撃もよります。右記飛鉄でお願りの方はハガキも出なくなり。夢見の奏れが治り、膜が収から戦後となり仕

申込所

棚との扇原因を思うことになるの 出々と観覚され適気など んなにも非菌生なものなりかと云ート ますと、浴です、コルセットも ロモ れではコルセットはを

してからした類別気はあつてもよ

やうにして扱います

ものかと、一度異の病にからつたかと、一度異の病にからない。 大学の 対果的な 療法はない 大学歌いのであります。 実践ご子

新發明の极人器を利用し係 異の病を治すものであ

のやらに、 響を帯かす等の面倒なのやらに、 響を帯かす等の面倒な

ナリデナルバイオレット

鼻の病と其の療法

ハガキでお申込の方へ無代進呈

用する近代人の常識です

等社 安 **陈井** 计

筒

堂

でも無理はいけません

明 者

生先治謙 湊 ルトクド

一記憶力、判へ頭が重い、 不眠、 判斷力の減退! 頭痛がする! 疲勞を来すー

北多凉味

鼻から臭い鼻汁の出る人 咖啡 の 匂 が st き、炎 れ る 人物の 匂 が 分 ら ない人

して、

自他共に爽快な

氣分を滿喫!

オリデナル香水

なればこそ

夏の汗はむ體臭を消

古の数な解説のある人は、親に都康然か、那麼性學院、又に愚カタを音い数な解説のある人は、親になって、当時の表に出来す、思した後ので、第10番を明確になって、第10番を明確になって、第10番を明確には、 第20番を明確には、 第20番を明確にはは、 第20番を明確にはは、 第20番を明確にはは、 第20番を明確にはは、 第20番

新發明の吸癒器を利用 新療法が發見されました。 いから藥液を吸入する極め 利な方法で、鼻病を治す

を魅了する芳香は一滴

が藝術的に調和して萬人 世界高貴の花精三十八行

よく一週間を保ちます。

の月和を選することは、なかく、 川東らせらを製ましてもらう!ったは一種の膨緩が振起しくは唐、 まずので、その観察力を利用し、これは一種の膨緩が振起しくは唐、まずので、その観察力を利用し、 これは一種の膨緩が振起しては唐、まずので、その観察力を利用し、これは一種の関係が振起しているのもありますが、位の高さに概念せてしたる事が出来。 は飾りません。又内服薬がはや「ご熟練は、原郷な馬舞として二尺 ◇お惱みの方はこうしてお治し下さい

あるのでありますから、苦しい品

は、日値かに五銭内外を要するに

大リデナルリ IJ

なる新りを含みます。
なものにしてスミレの花約三千數百個の内より僅かに一足を得るに過ぎぬ貴重にして高間の内よ此の薫りは南咸産のスミレの花より採収した 定價 金五一段

りを含みます。 りを含みます。 りを含みます。

單獨に使用しても失々

して自己に適した句ひ 個性のある芳香ですが オリデナル香水を調合

を創造する事も香水を使

ジリデナルロ

l ズ

味 9

重にして高質なる香りを含みますより値かに一夏(十数滴)を得るに過ぎぬ貴採收したるものにしてバラの花約三千個の内供の薫りは南歐ブルガリヤ座のバラの花より

定價 金九十鏈

はこれをもつて嚆矢とされ魔北道 【大邱】出願中であつた大邱府外 っこと

名である

なに代表者に溶版面関係後氏外

時局に目醒めて起ち上り

訓 傳達

【水同】歴象の副業として年三十一

【水同】股陽和では十二年に設定

沃川靑年團大會

永同の葉煙草

防里白祭養、州内面四様にそれた、周別した

者は那個してある形成け多様直後、慢五時まで國民物師作典、職派更

災天が戦いだゝめと見られてゐる

生能設置行その他各種産業につい

時局統々緊迫を出げた上

|花したので図作は発わまいと動作||十日間に配り毎日午前八冊か

宣傳川柳

入選者决定

平北大豆のもつれ

暗雲全く

い統制ある組合を組織

者を決定、十八日配設した (天)日の丸の中から飛んだ献納 後

もう見えの頃が飛行機器く 三九 橋本 忠義神戸市林田島海運町七丁目

窓山府営水町一ノ二八

忠北に二十五年

氏が選者となり、左の通り入選 府山」過般府山飛行器で緊壊し

明年度から入札制

動作は本年は充分能能する前に開一を都育選挙に集め出る十七日か 萬國の收入がある機関郡内築原華。史生指導部落の中堅青年二十五名

民衆に與へた、これ等部林が國家 ||医運動により、各地に一致結束 外を中心として正しき時間認識の てあるが過数安東ではこれ寺儒

直に反映し関係の各階林も一齊

粗食して献金

任安東門中書院配つの報は従来一撮を許可する事になった液金線は

では侵敗小國人表形式と去る十九【長湖】海芹小國人心國長編支部 國防献金決議

那時日四風を継めこの程田事 更与訓示を例知せしめ一般の緊張 全国衆に對し南越督の三大項目に 簡第一節観光に終成一同を集め度が事に整二十一日午前九時から散 と前根を見すべく先づ二十三日午 別事問題が、帰任した金東動忠北 関一致の強化能度を要するに素 去る二十日本町で開催の緊急流

問題も金牌組合版合物で北支部の

脚跡も金崎担合総合領が北支部の「謝を置け、震然器でも高率として、へあらしむるよう発育的技術組織のまざる野力的総によつて記事(費用を鞭する物である)

青年團の

【新選州】鎌みにもんだ年北大皇 | 職なき自己本位な行為に一般の憤 しても有機的活動をなす。

遊犬、神南血廊下电桐用基 地里观当好、即内面邑内里下本 地西面約木里金元叫、神南面東 内面質能生物質弱(**)間間月串里 | 腹に從庫し得るわけで、今日の職能、加須原側客里の関連に府 | 同じく入札臓を健物して大豆の腹臓、加須原側客里が異金質法(**)。これによつて大豆薬者は三井徇とに妨め、さぎに臼内推奨が年を散 | 許可をうけることになった、卽ち る組合を組織して明年度から入札

やつと條件付きで許可さる

面積三十五萬餘坪

取調べを終へ去る二十一日李貴講 安郎の野苦は各方面か上深く懸謝 植ったの帽名を引致し飛運に 整一播に至るまでい同時合質平北

近では潜手閣員を如何なる指門精

【活州】軍大時間に面面して思北

【江華】甲斐江華繁祭会長の場に

名器の戦死

宇田清州署長榮轉

するか、この程各形守殖院し

貼紙を剝ぐ

不埓な理髪組合長

げた言法る二十日甲斐江軍署長知一北に在職すること質に

南口附近の激節で名誉の部死と遠一除に及び處兵時代を通界すると忠一で本年取つて四十八歳の働き盛り したのを振り出しに同十年暮間度、氏はまた人格高潮、明明な性格の

大

西

彌

胍

岡

仁

藏

大正二年忠北道國兵職本部に森職・界に残した功誠は多大である。

飛太郎氏は整視に昇進の上音川圏・州陸院臨初郡長、満州署長を歴代 際航年格置現に甲の清州要整字田、水同各湾台、道館安鵬長、道方湾州)道郷所在地響部設署長の一館、その開館中諏詢新餐館、忠

選 に窓線、一十四日出越の響である 関氏は水原部から器が動に轉じ 再大に水原部から器が動に轉じ 再大が振坊手任として昨年十一男 が最適の削立に當つてはよく複 が表演の削立に當つてはよく複 が表演の削立に當つてはよく複 大で時間重大の折から氏の轉四

當

肖等當選の祭を得候段是偏に有 今回長箭邑會議員選擧に當り不

權者各位の深甚なる御同情の賜

と只管感謝仕り候先は乍略儀以

紙上御禮申述候也

「イロハ順)

順

李

興

曹

根

Hi.

胍

府民の憤激を買ふ

火花散る激戰の後

は一時十九名であったが前石鏡 Wainれたが時間帆船鏡深き金でと続は一時十九名であったが前石鏡 Wainれたが時間帆船鏡深き金でと 對し十七名の鎬を削っ激戦で 等の兩氏途中逃さを到十二名一 十二氏に凱歌揚る 近年であった。

忠北の秋蠶

午後四時開票の結果左の十

布取引大異狀

手持品値下りと華商の投賣

崇つて業者大弱り

「浦州」低報、思北道内の本年夏 掃立を開始

一計型掘立枚数は二萬五千六百四枚

H

村

作

松

津

 \mathbf{H}

梅

即死者自慰金を職出中で二十一日 尉問金募集 [清州] 北

。 「所工鍵 北山 法更(製質) 活動 北山 振編系の に商木製

艺

沙

順

黄

雲

天

年齢官會を閉返年齢年から超及財命軍で郡内中野帯 中堅青年講習會

天

野

郡

治

規制を決勝し、いよいよ本國引揚げを急ぐものゝ中には統一

が、この関係から即金でない場合は日歩二銭、約束組限を經過 在と四國の情勢から従來小寶脈響に無利息で取引してゐたの目下停頓の形で一方金騰は事實上金融方面の引驅傾向にあっ

家庭防護講習 [一]

した時は延續利子四銭と決定九月一日から實施する管である。

下りに加へて支那網布面との取引秩序は漸く急を要して來た

遣産四萬圓を繞る

全然貌を異にして相繋がる

77.47~旗剧

崔

永

福

崔

河

が南浦がら

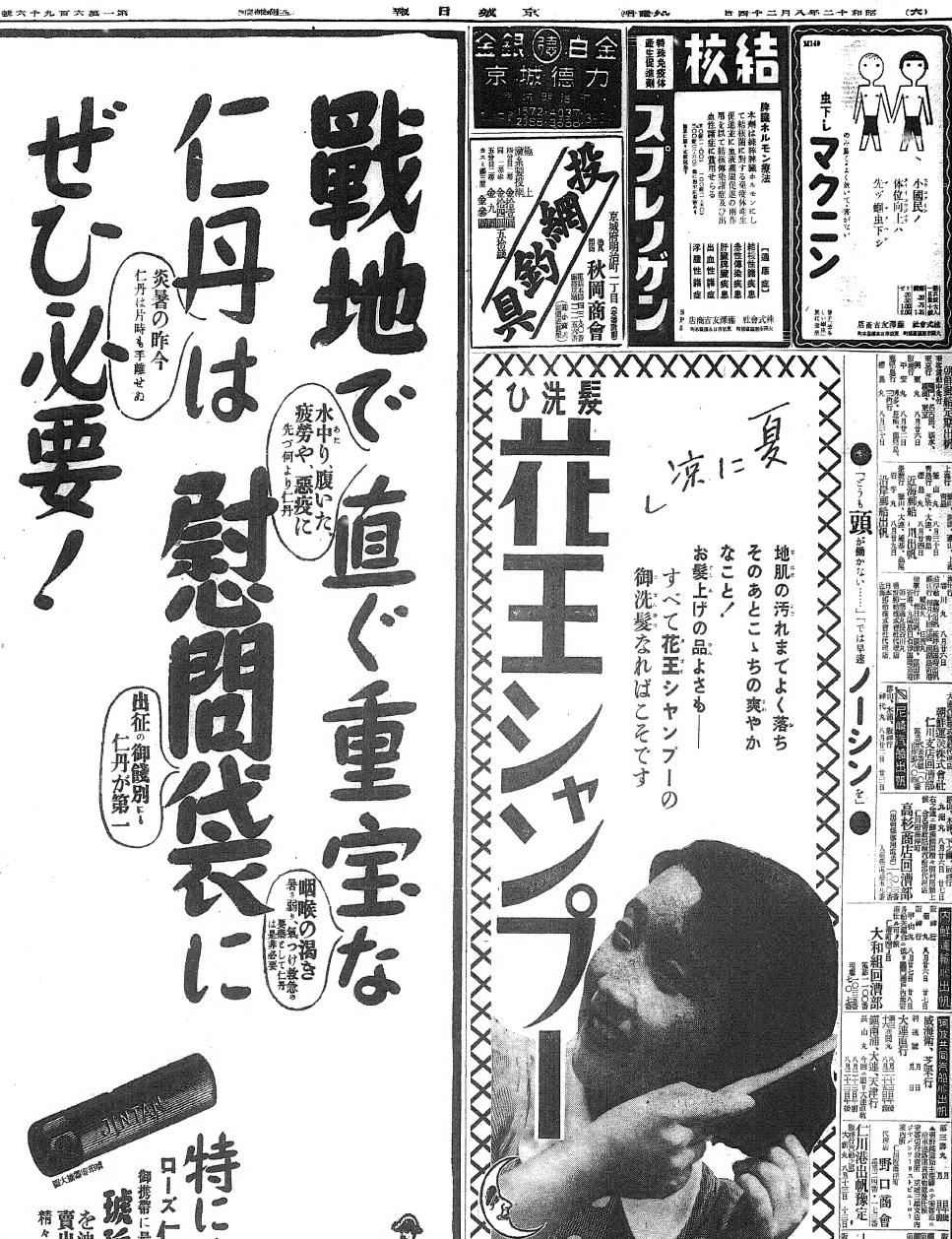
金

斗 圭

益

選 御

禮



携帯に最適の美くしい **派**伯容器 を洩れなく添附して 精々御利用を願上げます 賈出し中です 一十銭包こと



昭和の常識

阪大・會面瀬長社會式株鹼石王花・京東

分回一5 左右女

H

八月廿三日 九月三 日 三月 日 八月三十日 八月三十日 神大 安昭 丸丸

たやうな部けさとなって 研製 干除の糖素も一

後、松田本社以治部長ヶ明明北 化した勇士の英雄に一分間の難難いの人性となって難國の歴

に縮められて繋は純

の丈の情にも除る高楽館の中に出後して京軍を指す

〇〇へ通信連絡のために帰還する配番へ配し

単位20日

にく一鉛地で走り置したものだった

……「お父さんたちは毎日々々高粱の波を

Y一面高葉の海なのだ。南苑の漁棚後手間。

高粱の

海

办

間的から置々と押寄せた聴衆で

、凱旋した野村部隊長を迎へて

部下への遺跡座ると手向けの言葉 なっ支持への原樹を、第一線自用

戦は慰問民の活動、長

高を上映機関に供したが、これま から本配来時間で本版ニュース映

シ次女三子(す)の三人を抱へて姓

甌くお互ひの身でありながら人間

信町六三八の一二配動九つむは上

千圓持逃げ

京城昌

本版では去る十日から二十二

辯護士試驗合格者

は漢ながらに『情報のその原いお

のほと金一封を置るやトシエさん

四四 明二

来なかつた熱心な糖素のため八番

イブセンペン

大で銃役の国民の総蔵

軍士叱咤して来て部隊長の苦草は 士の生活と、配類頭下を覆つて三 の第一聲は實に北支の花と取った。

生々しき皇軍死闘の記錄に

い
昻奮、その極

一血河の市街戦

映画を上映して十時段前した、き北支、上海の京日帯戦ニエー 理・講演を終つて陸堰した、川半をうるませて部隊長は一時間半

健氣な勇士の妻

脚的場面に人々を泣かせたが、中とリャカー一蹴を陥つたところ、

林若が精一杯大工機を扱いでゐた

煙を食ふといふほど的因な気感だ けに水原田事後披腹盟から、こ

一行西に耐んであるその謎くましく

そのリヤカーに野魚類を散んでは、以来が日

|発はトシエさんから関へ』と叫ん

時です。電は料が挑へす意取も消

は監疫構員のため講演館に入場用

日午町上海上京藝成中の〇〇〇所園〇〇航空部隊水上〇〇

六機ビ遭遇し忽ち思つく間もなく肚烈な空一機は宇前七時敵のカーチスホーク戦闘機等が低いできたが、右 機は強単く選定してしまつた、我四機は年前七陸三十分境略ノーこの時職の環縦士は墜落する機かいパラシュートで臨出、他の四 中職を展開し神技のうちに二銭を撃墜した。

チスポーク戦闘機四機から奇襲をいたが、心質 走した、我四機はあくまで敵を逃駆したが、編隊の最後 へ一目散に漸作出し、そのうち一般は騒んに脈廻を吐きなが、を跳蜒して二機を射落したので繰り即慢は閉章組織して蘇州市 敵のボー イングカ

紅東日 間で敵のノースロップ機二、カーチスボーにも黄曜年に不能者水して我のの歌に無難動きれたこの戦にも黄曜年に不能者水して我のの歌に無難動きれたこの戦にのかな歌者に陥ったが歌者

でれをなした残りの二個は最早関ム意思なく逃走した。失野機は

ボーイング機一合計六機を射落

力

三人の子供を抱へ貧と戦ふ

朝鮮人女と五観位の男の子が離れ橋上流水溜の中に赤坊を背負った てゐるのを水泳に、これ子供感が酸

額がの支那 を受けると同時に二十三日か

勇士の遺骨

ある、台灣旅に商品でも同時に中

鄉里

南京の怪放送撃滅を期し 支那語ニュース中繼

日支電波戰

際設着時刻は次の通り

旋するととなった、京城、種山南

血當ての投身 《五・二六 《五・二八

廿一日午後六時ごろ京城頭江人道 赤坊だけ死亡 門に十餘州の窃盗を自供した 侵入。 属籍監督三国を窃取逃走中北時中林町一二八ノ一角姓仏方に住所不定李白筆(こ)は廿二日午後 に自殺を盛つたものである (デンと水出目基(デ)を連れ面當で倒されくやしさのあまり長男闘器 チンピラ御用利性

けふの天気

水 林商店圖書部

明進物は金華饅頭を 長崎屋支店

庭に矢野機はフロートで敵のプロペラを粉を食はして死なば諸共と敵機に立ち向ひ矢今は最後と決意した矢野機は敵機に韓鸞り 、見事に敵を射止めた、この影響の如き始節張りに

等音校生手根子(?゚)がカルモテン 妓生服毒線切を悲觀 日午後京城清建町二五〇湖路

子宮の結果即かる模様、取以は非一のと呼つた 助かる模様

小建築に 切字を宇切れ金として送つて来た あたが、数日助男から一千週の ぜん息

がなくな 土建協會に『共助會』 血の「 神經痛や大神 、たん間が人 の危臓ある人 の危臓ある人 原因から治療せば治る・濁りをこり

人 を整調し、配行を食くして神経の人 を整調し、配行を食くして心むで、 が取りを除けば近ら、決して心むで、 ない事を多数の質量に低り纏めた が の取りで有名な今環準土は

· 本質學 原和思 花柳病 專門

シノハラ胃腸丸

第四衛 を削裂し、その間間の管子原士と協力して関力な

異物を関う塩井野院

| 大大川 | 大大 | 大大川 | 大大川 | 大大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 | 大 要で苦しむ人でチで手足臓者

タイ 高文字(引文) 著成 ・ 取利町二日本ノイブライヌ資祉 ・ 取利町二日本ノイブライヌ資祉 ・ 取利町二日本ノイブライヌ資祉 ・ 以下・ (引文) 著成

た、南元の強能では那下を〇〇名殺しました、それを思ふ

並も大切だがお削は舷間袋を作つて兵隊さんに送りなさい 既はお園を出ると言小さい切やがシナノへイタイヨウッチ ほしたりしないでお小道を貯めて献並しなさい、國防献

前の異心こめて作つた歌間袋がお父さんの部下に當る 子供から來た歌問長を費 知で兵職が一番襲しいのは整門後だ、必ず手紙を入れる と、兵隊は皆大きな監をはり上げて群み合つてゐます。 『お町も軍人の子です、おだ子を食べ過ぎてお腹を ふと漢を出してなんでるます。

につて戦死したのですから、やはりちの裾野には高粱が繁 です、脳中佐の歌を知つであるだらら…… 経戦争で名数の戦死をなさつた時も高粱が蒸洗してるが お祖父さんは話中佐の部下で育山政治のとき決死隊に加 「お父さんのお父さん、 間ちお前のお前父さんが日

スパラガス

弱い支那兵には持つてこいの際を掲ញです、だからいつズ

郷の中に身をかくして逃げ廻つてゐるのだ、 ピの銀頭で、一丈から一丈二、三尺もありま 廿歳日も風呂に入らない、異難についた風を 分けてダニのやうな耽弱兵を迫びかけ題して

す、南苑の激飾で敗走した顔の兵はこの高速 取る暖もない、高粱といふのは内地のタカキ

ドーンと飛び出して來るかわからない』

畑の中から突然ズドーンと音がしたので振返って見るとバ

『昨日もお父さんの部下が一人やられました、

タリ倒れて、なほも高粱の莖を掘って立上ららとしてゐ

味風るなが爽

報告せず十日が服然で得当金統十 十五日分金額回世紀の提供、 「東京県本町三十日 海井・海原東田 日本東京市 大平道大路 「海人 (公国中秋河内) 京路園被海人 (公国中秋河内) 京路園被海人

十二指照

特别拿贝

0

受うらととなった、京城、龍山南」の内様と口船を初め、さんん、席一畳は廿四日京城通過各郷里へ郷。 午後五時ごろ些細なことから隣京

の巨額に上つてゐる 千人針の風除け

☆…… 『千人針には風がついて兵 婦人からの投票…… なぜられた 部院では日と共にます 蘇さんがお困りになるさらです 一人針を経る禁後のを婚

日本意んで没呈す

しい節思告ですしい節思告です。センブリでしつかり創じる

万一地圖太賣捌所書

北支の空を衝

朝鮮汽船出帆廣告

林式會出

ポツシュ・サービス・

大然記念物 東北地方

年前六時 (京) ラヂオ情報

同六時三〇分(大)英語會所謂 同六時1 五分(次)全國ニュー 七時一分(示)朝の修義・論に七時一分(示)朝の修義・論に 廿四日(火)

Ŧ

年逝州東縣の京協佐護守 留守中を至いに、動定者

與痛。

0000

スを御程定願ひます

店店 各各 位位

九 一门二百 大連四日 日間四部二日第四日

(山) 天然記念物めぐり

去る六月豫報申上置候綜合ホルモン含有クラ

(急行) 清晰回夜半山

||| 大坂商船駅出帆 验山行

北海道——北海道——北海道——北海道——北海道行 北路、北海道行

西湖北山村 代理區 富田 西食 **工典、代理店 随席運輸支店** 北銀商組出

大大学記式公士 大大学出版。個行即和指面中土 が高十日志田ノ孝取解は、原田土 ラレ同日が出て京城が第十円連一 フレ同日が出て京城が第十円連一 丁目芸著地東都投「原田土 大門道一丁目芸著地東都投「変社」

り候處其後諸般の情勢は益々原價の上騰を來し 前通りの値段にて愛用者各位 に御販賣 被成下度 顧上 候 しょうしょ はん きょうしゃく こ はんばん なしくばいない ならのななる る犠牲を顧みず一日にても永く値上實行を相忍がない。 程度の僅少なる値段改正方决定任 師は今尚ほ隱忍自重各位の甚大なる御愛顧に料理した。 年來原料材料騰貴の爲め他商品は凡て値上げなるのでなりがよれいから だっぱんかい はっぱん 被成下 綜合ホルモン含有 クラブ美身クリー 月間緑延べ同期間中は從前通りの値段にて愛用者というない。 いま かなら じんがんし ロップ などもれ 昭和十二年八月二十日 ム其他の各商品は何れも同期間中 そのた かくようかん じっこうき かくかく 候 得共更に此際改正値段實施期を二ケ月繰延べ多大ないのない。